

外来がん治療部門における薬剤師業務の実態調査 集計結果

がん診療連携拠点病院等432施設に対して270施設より返送あり（回答率 62.5 %）

1. 通院抗がん薬治療患者への薬剤師の関与について

(1) 外来がん治療業務に携わる薬剤師の勤務体制

		施設数	割合
調製/調剤	専従のみ	16	6%
	専従+専任	9	3%
	専従+専任+兼任	29	11%
	専従+兼任	33	12%
	専任のみ	19	7%
	専任+兼任	71	26%
	兼任のみ	91	34%

		施設数	割合
指導/説明	専従のみ	19	7%
	専従+専任	16	6%
	専従+専任+兼任	13	5%
	専従+兼任	20	7%
	専任のみ	32	12%
	専任+兼任	59	22%
	兼任のみ	97	36%
	その他	12	4%

(2) 通院患者への抗がん薬治療に関する指導や説明への薬剤師の関与

Q. 通院患者への抗がん薬治療に関する指導や説明に対して薬剤師が関与しているか

「はい」と回答した施設数と割合：261施設（96.7 %）

以下、「関わっている」割合について（数値を自由記載）

0.5	1	1.5	2	2.79	3	5	7	8	8.1	10	11.5	15
1	11	1	1	1	5	25	1	1	1	26	1	3

20	21	25	30	40	50	60	70	75	80	85	90	95	100	—	(%)
17	1	3	11	5	23	13	15	4	17	3	9	3	14	45	(施設数)

↓ 「指導や説明に対して薬剤師が関わっている」と回答した261施設のうち、

Q. 「薬剤師外来」等の標榜をしているか

「はい」と回答した施設数と割合：43施設（16.5 %）

↓ 「薬剤師外来等の標榜をしている」とした43施設のうち、

Q. 予約枠を設けているか

「はい」と回答した施設数と割合：36施設（83.7 %）

Q. 通院患者への抗がん薬治療に関する指導用の部屋はあるか？

「はい」と回答した施設数と割合：217施設（80.4 %）

↓ 「指導用の部屋はある」と回答した217施設のうち、

Q. 指導用の部屋はプライバシーに配慮された部屋か？（複数回答あり）

	施設数	割合
個室であるため、プライバシーは保たれている	186	85.7%
部屋の一角等を使用しているため、十分とは言えない	23	10.6%
その他	8	3.7%

Q. 薬剤師が、外来抗がん薬の注射投与がある患者に対して関与する対象範囲は？（複数回答あり）

	施設数	割合
通院治療で行う全ての患者	145	53.7%
特定の診療科やがん種、特定の薬を含む患者	36	13.3%
殺細胞性抗がん薬で治療中の患者	72	26.7%
分子標的薬で治療中の患者	72	26.7%
抗ホルモン薬で治療中の患者	20	7.4%
その他	47	17.4%

外来がん治療部門における薬剤師業務の実態調査 集計結果

Q. 薬剤師が、外来抗がん薬の注射投与がない患者に対して関与する対象は？（複数回答あり）

	施設数	割合
通院で経口抗がん薬治療をおこなう全ての患者	38	14.1%
特定の診療科やがん種、特定の薬を含む患者	81	30.0%
治療に経口の殺細胞性抗がん薬を含む患者	62	23.0%
治療に経口の分子標的薬を含む患者	62	23.0%
治療に経口の抗ホルモン薬を含む患者	29	10.7%
その他	87	32.2%

（3）薬剤師が関与するタイミングや頻度について

① 抗がん薬の点滴治療がある患者の場合

薬剤師が関与するタイミングは？（複数回答あり）

	施設数	割合
医師の診察前	86	31.9%
医師の診察中	16	5.9%
医師の診察後	144	53.3%
点滴治療の間	220	81.5%
点滴治療終了後	41	15.2%

薬剤師が関与する頻度は？（複数回答あり）

	施設数	割合
治療の度	67	24.8%
治療導入時	176	65.2%
治療変更時	161	59.6%
医師等からの依頼時	151	55.9%
担当薬剤師の判断	116	43.0%

② 抗がん薬の点滴治療がない患者の場合

薬剤師が関与するタイミングは？（複数回答あり）

	施設数	割合
医師の診察前	72	26.7%
医師の診察中	14	5.2%
医師の診察後	223	82.6%

薬剤師が関与する頻度は？（複数回答あり）

	施設数	割合
治療の度	39	14.4%
治療導入時	123	45.6%
治療変更時	100	37.0%
医師等からの依頼時	183	67.8%
担当薬剤師の判断	63	23.3%

（4）抗がん薬治療中の患者に関与する際の実施していることは？（複数回答あり）

	施設数	割合
治療薬に関する説明・指導	253	93.7%
アドヒアランスの確認	186	68.9%
減量や中止基準の確認	210	77.8%
副作用モニタリング	217	80.4%
支持療法薬提案	224	83.0%
治療薬剤の変更提案	98	36.3%
薬剤の減量や休薬の提案	184	68.1%
その他	26	9.6%

外来がん治療部門における薬剤師業務の実態調査 集計結果

(5) 抗がん薬治療中の患者1回あたりに関与する時間について (自由記載)

①初回導入時

時間(分)	10	15	20	25	30	35	40	45	50	60	90
回答施設数	21	30	71	4	102	1	19	3	2	9	1

②継続介入時

時間(分)	0	5	8	10	15	17	20	25	30	60
回答施設数	1	38	1	88	60	1	32	1	15	2

(6) 治療や副作用説明に使用する説明書には何を用いているか? (複数回答あり)

	施設数	割合
病院で独自に作成したもの	206	76%
製薬メーカーが作成したもの	250	93%
市販されている資材	28	10%
その他	5	2%

(7) 医師の診察に薬剤師が同席しているか

	施設数	割合
同席している	25	9.3%
同席していない	245	90.7%

(8) がん患者指導管理料3の算定について (複数回答あり)

① 算定のタイミング

	施設数	割合
指導の都度	51	18.9%
治療導入時やレジメン変更時	168	62.2%
投与量等の変更時	18	6.7%
その他	28	10.4%

② 診療報酬で定められる上限6回の算定が終了した後も、継続して関与しているか

「はい」と回答した施設数と割合 : 150施設

(9) がん患者指導管理料3の算定の際の同意取得は誰が行っているか? (複数回答あり)

	施設数	割合
主治医・担当医	140	51.9%
薬剤師	118	43.7%
その他	9	3.3%

2. がん薬物療法における保険薬局との薬薬連携の状況

(1) 抗がん剤を含む院外処方箋の処方監査をしているか? (複数回答あり)

	施設数	割合
処方箋発行時にしている	67	24.8%
処方箋発行時以外にしている	31	11.5%
していない	167	61.9%

● 「処方監査を行っている」と回答した98施設のうち、鑑査の対象は? (複数回答あり)

	施設数	割合
抗がん剤全て	59	60.2%
殺細胞性のもの	38	38.8%
分子標的薬	36	36.7%
抗ホルモン薬	10	10.2%

外来がん治療部門における薬剤師業務の実態調査 集計結果

(2) 抗がん薬を含む処方において、保険薬局からの疑義照会の受け手は？（複数回答あり）

	施設数	割合
全部医師	143	53.0%
全部薬剤師	109	40.4%
抗がん剤は医師	0	0.0%
抗がん剤は薬剤師	0	0.0%
抗がん剤は特定部門	0	0.0%
その他	12	4.4%

(3) 外来処方箋への検査値印字はしているか？

	施設数	割合
いいえ	201	74.4%
はい	67	24.8%

● 「検査値印字をしている」と回答した67施設は、どのような処方箋に印字していますか？

	施設数	割合
全て	58	86.6%
一部	7	10.4%

(4) 薬薬連携をどのような活動に基づいておこなっているか？（複数回答あり）

	施設数	割合
研修会	185	68.5%
おくすり手帳	143	53.0%
独自ツール	51	18.9%
トレーシングレポート	51	18.9%
レジメン公開	45	16.7%
その他	14	5.2%
取り組みなし	38	14.1%

(5) 薬薬連携に関して、現状の活動に満足しているか？

	施設数	割合
かなり満足	3	1.1%
まあ満足	59	21.9%
あまり	127	47.0%
全く	74	27.4%

3. 施設状況

Q. がん患者指導管理料3の算定はしているか？

	施設数	割合
はい	212	78.5%
いいえ	58	21.5%

Q. 「算定している」と回答した212施設について、がん患者指導管理料3の算定件数は？

	施設数	割合
10件未満	43	20.3%
10件以上50件未満	129	60.8%
50件以上60件未満	26	12.3%
100件以上	13	6.1%

(参考) 医師が「がん患者指導管理料3」の算定を行っているか？

	施設数
医師による算定なし	144
医師による算定あり	10

※ 医師による算定あり18施設のうち8施設は、医師のみが算定(薬剤師による算定はなし)